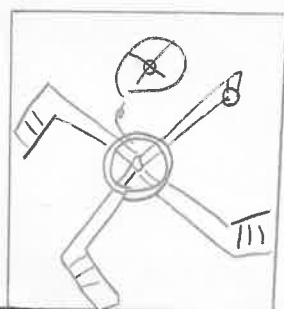


①名前の由来

「ヘドバン君」なぜそんな名前になったのかというと、ヘドバン(ヘッドバンギンク)ができるからです。コントローラーを前、後ろ、前、後ろというふうにくり返すと、ロボットの頭の部分がギョタン、ドッコンと、ヘドバンをしているように見えるのです。
 そして、そのヘドバンを生かしてサイコロを転がします。
 名前がヘドバン君になった時は、練習を仲間達としている時、「うわぁ!!ヘドバンしてる!!」「ヘドバンやヘドバン!!」「よし!!名前はヘドバン君やん」という声でできたものでもあります。

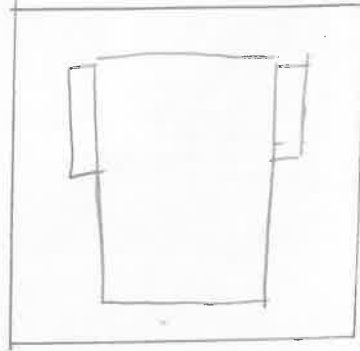
②ロボットの機体

<タイヤ>



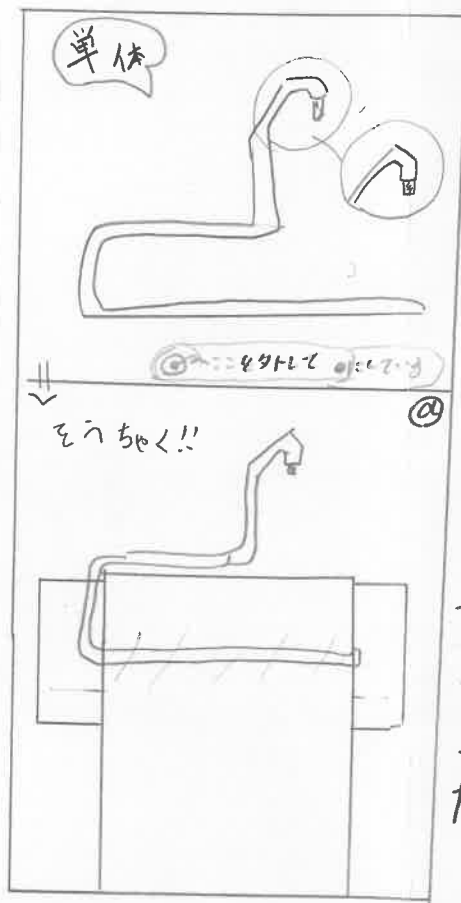
タイヤは、円型です。モーターが一番近く、タイヤの軸になっている部分は、ペットボトルのキャップでできています。タイヤは、少し太めの針金でできています。タイヤを後ろから見ると、L字型になっています。針金の先には、すべり止めとして、カバーをつけています。

<どらい本>



どらい本は、2枚のプラスチック板を使って作りました。横向きにつけた板は、両はしを1~2cmほど切り、縦向き板は、1枚をそのまま使いました。グルーガンや接着剤ではなく、ガムテープでつけて、あまり重さが変わらないようにしています。

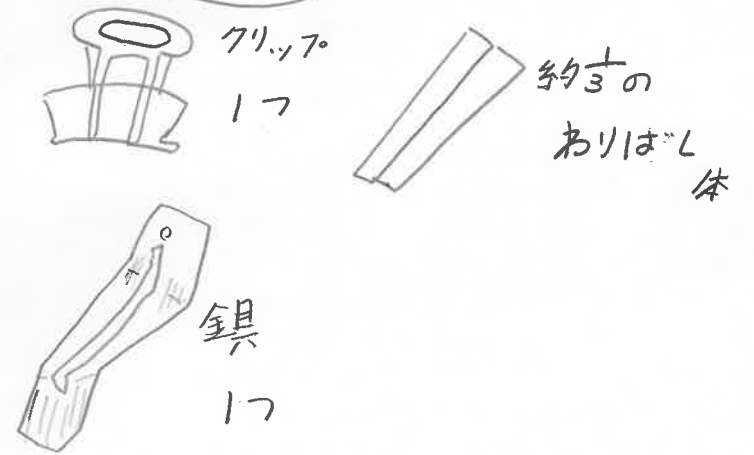
<角>



角は、このロボットで一番こたあっているところです。先たんで「へ」こう曲げることでよりひかかりやすくしています。この角も針金でできていて、針金のフィルムを外して、よりするべくしています。そして、本体の板の空に針金を通して長さを調節し、かつ、重さをより大きくかえています。このロボットは、タイヤより、角でサイコロを転がすので、角にはとことんこたあっています。

<重り>

使っているもの



つけている場所

